



平成 30 年 3 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 京葉銀行
代表者名 取締役 頭取 熊谷 俊行
(コード番号 8544 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 市川 達史
(TEL. 043-306-2121)

第18次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2021」の策定について

当行は、2018年4月より2021年3月までの3年間を計画期間とする“第18次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2021」”を策定しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 名称

第18次中期経営計画

「 α ACTION PLAN 2021 ～さらなる飛躍～」

2. 計画期間

3年間（2018年4月～2021年3月）

3. 基本方針（スローガン）

「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」

4. 環境認識と計画のねらい

人口減少・少子高齢化やニーズの多様化などの社会情勢、低金利の長期化や貯蓄から資産形成への動きなどの経済環境、さらにはデジタル化の進展やAIの発達といった技術革新など、当行を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化に対し、4つの基本戦略を掲げ、質の高いコンサルティングを実践していくことで、お客さまと当行がともに豊かになることを目指します。

5. 4つの基本戦略

① お客さまに寄り添った営業の実践
■ 事業性評価による中小企業向け貸出強化 ■ ソリューションビジネスの強化 ■ 住宅ローンビジネス・資産形成ビジネス・相続ビジネスの展開
② オムニチャネルの構築
■ 次世代型店舗等の対面チャネルの充実 ■ ICTを活用した非対面サービスの強化
③ 全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革
■ 多様なキャリア形成・能力開発への取り組み ■ 働き方改革の推進
④ ローコストオペレーションと利益拡大
■ BPRとデジタル化の推進 ■ 営業体制の見直しと成長エリアの強化

6. 本中計で目標とする経営指標

項目	2021年3月期(3年後)
当期純利益	150億円
役務取引等収益	150億円
OHR	60%程度
預金残高	5兆円
貸出金残高	4兆円

以 上



第18次中期経営計画

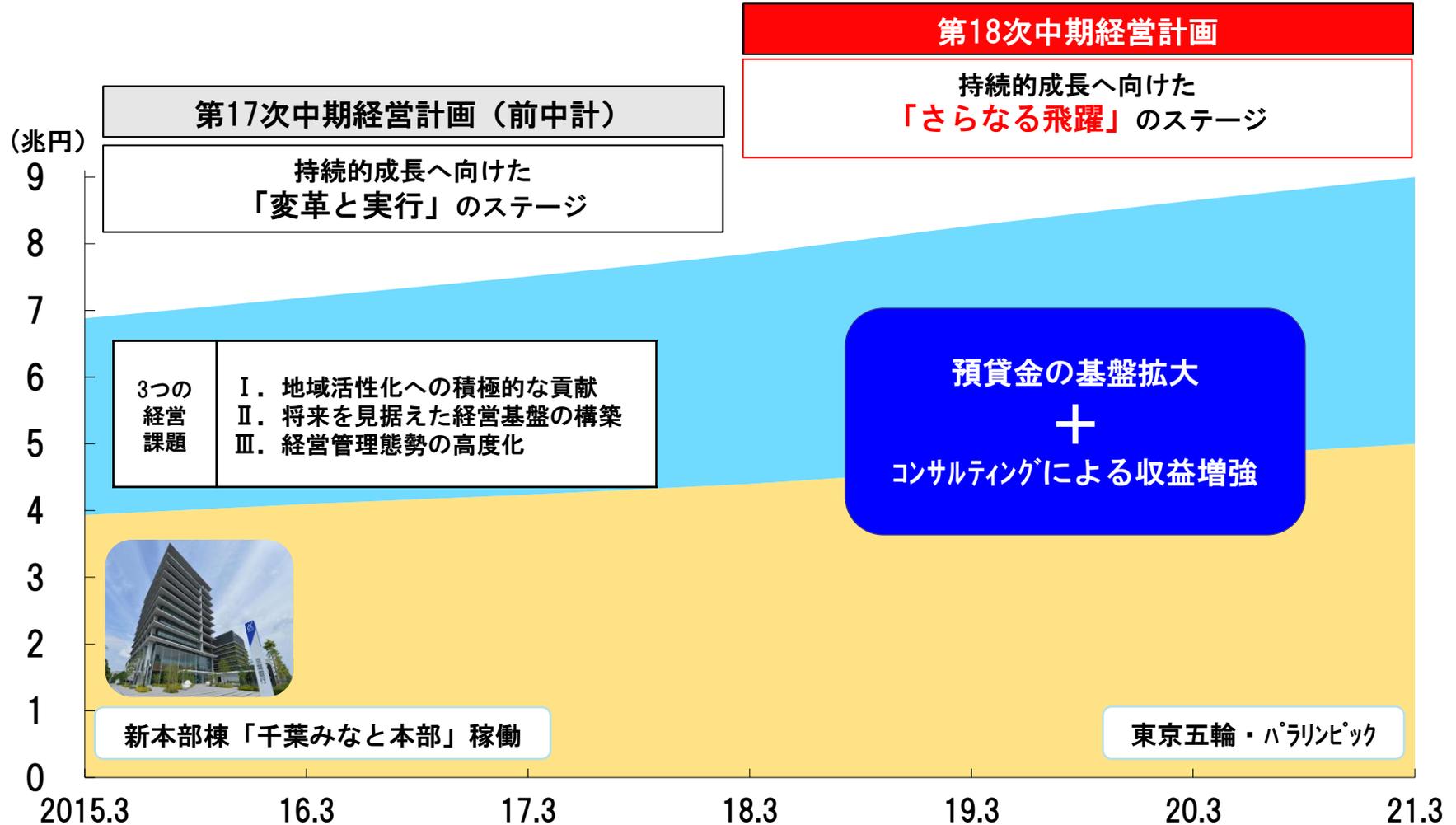
α ACTION PLAN 2021

～さらなる飛躍～

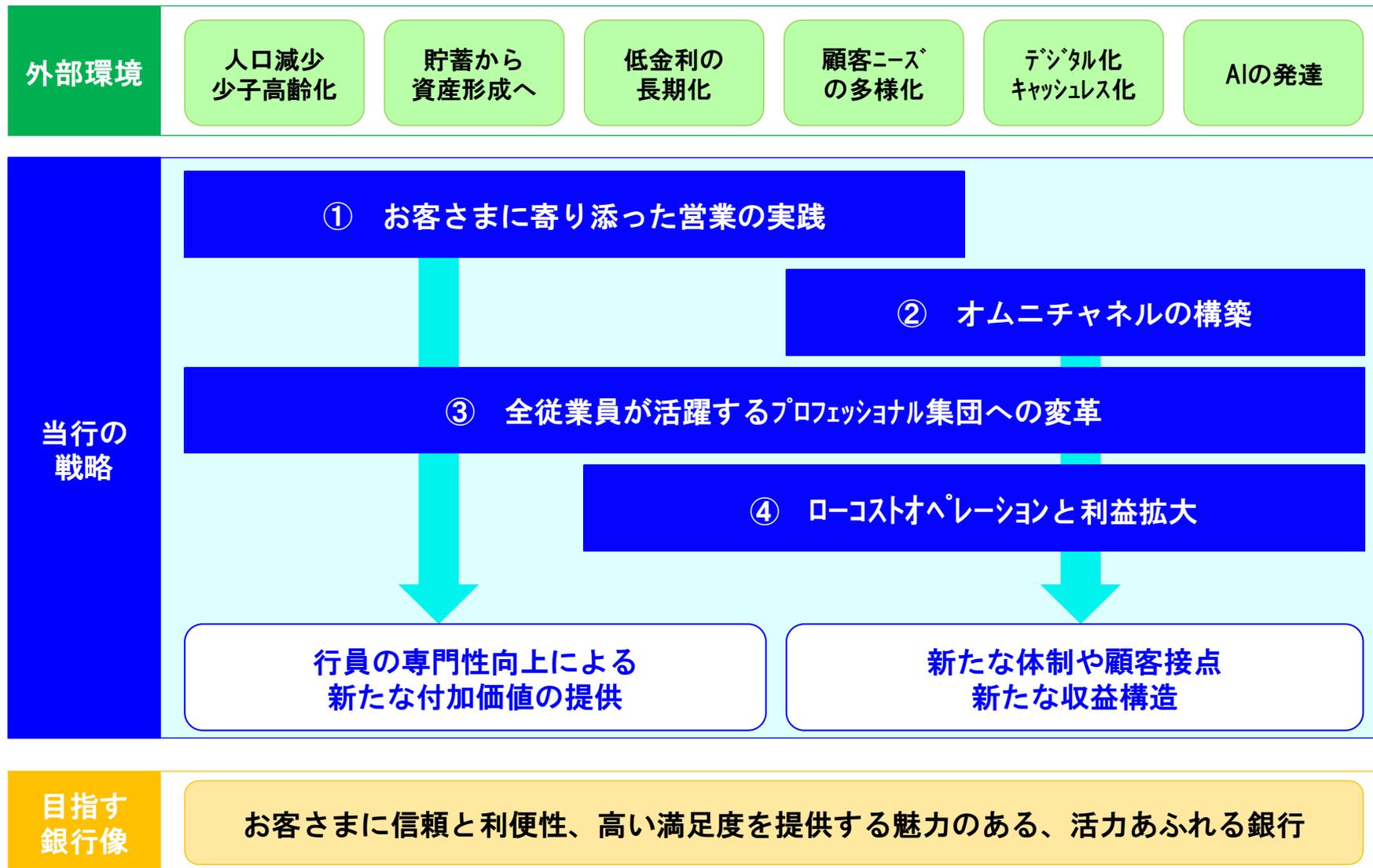
確かな“きずな”を、未来へ。
株式会社京葉銀行

計画の位置づけ

■前中計で掲げた6年間の長期ビジョンの集大成



戦略の方向性



計画の全体像

第18次中期経営計画

α ACTION PLAN 2021 「さらなる飛躍」

基本方針（スローガン） 「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」

計画期間

2018年4月 ~ 2021年3月（3年間）

基本戦略

1. お客さまに寄り添った営業の実践

行動

2. オムニチャネルの構築

サービス

3. 全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革

人財

4. ローコストオペレーションと利益拡大

体制

計数目標

当期純利益
150億円

役務取引等収益
150億円

OHR
60%程度

預金残高
5兆円

貸出金残高
4兆円

質の高いコンサルティングの実践により、お客さま・当行ともに豊かに